

Ⅲ 事務職員・栄養職員・技能職員に求められる資質能力

1 本市が求める事務職員・栄養職員・技能職員の資質能力

本市では平成24年3月に目指す職員像や人材育成の考え方などを整理し、進行管理を行いながら効果的、計画的に取り組むを推進していくために「仙台市人材育成基本方針」を改訂した。その中で、職種や担当業務にかかわらず全ての職員の共通の目標として、三つの「目指す職員像」を定めた。そして、「目指す職員像」に近づくために職員が共通して高めなければならない能力を三つに集約した。

学校に勤務する事務職員・栄養職員・技能職員については、基本的にこの「仙台市人材育成基本方針」に準じて人材育成を進めていくこととする。

(1) 「仙台市人材育成基本方針」から

① 本市が目指す職員像

- 信頼を築く職員
強い使命感と高い倫理観を持ち、確かな仕事で市民の信頼と期待に応える職員
- 力を合わせる（協働する）職員
市民の視点に立って考え、市民や他の職員と力を合わせて仕事をする職員
- 挑戦する職員
困難な状況や課題、変化に対して前向きに取り組み、果敢に挑戦する職員

② 持つべき意識

- 使命感
職員一人一人が職責を深く自覚し、職員として何ができるか、何をなすべきかを常に考えながら、職員としての誇りを持って職務を遂行していかなければならない。
- 協働意識
豊かな市民生活を実現するためには、絶えず市民の視点に立ち、市民と共に考え、協働しながら職務に当たることが必要である。また、市民との協働に加え、職員同士がチームワークを大切にし、連携・協力しながらお互いの力を引き出していくことも大切である。
- 挑戦・改革意識
これまでの業務を根本から見直し、困難な課題にも積極的にチャレンジし、創意と工夫を凝らしながら改革していく気概が必要である。

③ 重点的に高めるべき能力

- 業務遂行力
担当業務を正確かつ迅速に行うことや、重要度や緊急性を判断しながら業務を計画的に行うことは、全ての職員にとって最も基本となることである。
- 対人力
業務を遂行する上で、組織を越えて調整や連携が必要となる場面もある。相手ときちんとコミュニケーションをとって信頼関係を築いていく能力や、立場や意見の異なる相手とも調整を図りながら仕事を進めていくことのできる能力が必要である。
- 自律考動力 ※「自律考動力」は、「仙台市人材育成基本方針」における独自の用語。
日々の業務に問題意識を持って臨み、変化を察知し、課題の解決のために自ら考え行動する能力を高めていく必要がある。

(2) 本市の学校の現状と課題等から

- ① 高いコンプライアンス意識を持ち、多種多様な会計事務や文書処理等を的確に遂行する力
- ② 業務遂行に必要な知識や技術の習得、能力の向上に努めようとする意欲や態度
- ③ 学校組織の一員として同僚と積極的に関わり、良好な人間関係を築く力
- ④ 多様化する保護者や地域等からの要望等に対し、誠実に対応する力
- ⑤ 職種の専門性を生かし、学校経営に参画しようとする意欲や態度

- (3) 本市が学校に勤務する事務職員・栄養職員・技能職員に求める力と求める職員像
 前述(1)(2)を踏まえ、本市が学校に勤務する事務職員・栄養職員・技能職員に求める力を次の3点とする。

仙台市が学校に勤務する事務職員・栄養職員・技能職員に求める三つの力

確かな業務遂行力 豊かな対人力 自律的な行動力

※学校という教育の場で用いるという観点から、「仙台市立学校教職員人材育成基本方針」においては、一般的な用語としての「行動力」を用いることとした。

この三つの力を具現化し、本市が求める職員像を以下のとおりとする。

仙台市が学校に勤務する事務職員・栄養職員・技能職員に求める職員像

○高い倫理観と使命感を持ち、確かな仕事で児童生徒・保護者・地域等の信頼と期待に応える職員

- ・公務員としての誇りとコンプライアンス意識を持ち、全体の奉仕者として公正、公平、誠実に仕事をする
- ・職務上必要となる知識や技術をしっかりと身に付け、常にその向上に努める

○広い視野を持って考え、同僚や他の職員等と力を合わせて職務を遂行する職員

- ・学校組織の一員として教育目標の達成に向けて職場のコミュニケーションとチームワークを大切にする
- ・児童生徒や保護者、地域等との対話や交流に積極的に関わり、様々な関係者と連携・協働して円滑に仕事を進める

○困難な状況や課題、変化に自律的に対応し、業務改善に取り組む職員

- ・家庭や地域の実態把握に努め、学校としての適切な助言や支援ができるようにする
- ・新たな課題や非定型的な業務に対し適切に判断し、臨機応変に対応する

2 キャリアステージに応じて求められる学校に勤務する事務職員・栄養職員・技能職員の姿

求める力	「育成期」 初任～5年経験	「向上期」 6～15年経験	「充実・発展期」 16年経験以上
確かな業務遂行力	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの職責を自覚し、コンプライアンス意識を持って正確に職務を遂行する職員 ○新たな知識、技術や業務の要領を迅速に理解し、管理職の指示を受けながら適切に対応する職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの職責を自覚し、高いコンプライアンス意識を持つ的確かつ迅速に職務を遂行する職員 ○業務の目的・内容、自己の役割を的確に認識し、自ら適切に考え、合理的に判断する職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの職責を自覚し、高い倫理観と使命感を持って職務を誠実に遂行する職員 ○業務上の問題点を的確に把握し、必要な情報を収集・分析しながら、効果的に解決を図る職員

<p style="text-align: center;">豊かな対人力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「報告・連絡・相談」の機能と重要性を理解し、積極的に同僚と交流を図る職員 ○教育目標に対する理解に努め、周囲と協力しながら業務を進める職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務遂行に当たり、周囲に対して明快に説明し、誠実な態度で接する職員 ○目的達成のために主張の異なる相手とも意思疎通を図りながら、職務を円滑に進める職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○経験を生かし物事に柔軟に対応するとともに、職場の雰囲気や人間関係を円滑に保つための心配りをする職員 ○困難な業務についても業務上の関係者等と粘り強く調整を行いながら、円滑に職務を遂行する職員
<p style="text-align: center;">自律的な行動力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域等の実態把握に努め、管理職の助言を得ながら業務を進める職員 ○様々な事態に対する適切な対応について理解を深める職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域の行事等にも積極的に関わり、学校や家庭の抱える課題に自律的に対応する職員 ○日頃から様々な事態への対応について準備し、周囲と協力しながら業務を進める職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域等の実態を十分に把握し、課題解決のための助言や支援を積極的に行う職員 ○日頃から様々な事態への対応について組織的な動きをイメージし、リーダーシップを発揮して業務を遂行する職員